

自主防災かわら版

2017・6号

～2017年度～

はるひ野 防災ふれあい祭

防災ふれあい祭

11月5日(日) (雨天中止)

開催時間：10：00～14：00頃まで
丸山こもれび公園／はるひ野小中学校裏

「**防災ふれあい祭**」を今年も開催します。防災時の自助、共助にはお互いのことがわかる、普段から挨拶を交わしている、そんな基本的な関係を作っていく機会が大切になります。**防災ふれあい祭**でその様な機会をたくさん作って下さい。また、お子さんやご家族で参加できる楽しいイベントを計画しています。**防災ふれあい祭**を通じて防災の知識を増やしたり、防災訓練を経験できます。**是非ご参加ください！**



今回も美味しいたきだし！！ゲーム
など楽しいイベントを検討中。



詳しくは次号でご案内します。お楽しみに！

～2017年度 はるひ野町内会 防災訓練～

安否確認旗掲出訓練



**訓練にご協力いただき
 ありがとうございました。
 掲出率は**55.1%**でした。**

2017年8月26日(土) 午前8時30分～9時30分に、安否確認旗掲出訓練を実施しました。掲出率は55.1%と昨年度の71.2%を下回る結果となりました。当日は猛暑のため、各家庭では窓を閉めてクーラーを使用することで、広報車のアナウンスが聞こえなかったことや、夏休みでお出かけしていたことが要因にあると思われます。しかしながら**訓練の目的は、安否確認旗の保管場所や使用方法を覚える事**ですので、この機会にもう一度見直し、更なる防災意識の向上を図りましょう。

大変暑い中、安否確認旗の提出にご協力頂いた皆様、報告／集計にご協力頂きましたブロック代表者、班長の皆様、大変ありがとうございました。

実際の災害時は、「**ご自身、ご家族等安全が確認できたら掲出**」頂きます。訓練の様に班長、ブロック代表者に報告する必要は無く、ご近所の「**救助が必要な家庭(旗が掲出できない)**」をできるだけ早く見つけ、互いに声をかけ合い、協力して助け合うことが目的です。掲出の目安はおおむね震度5強としています。川崎市内でこの震度の揺れが発生した場合、防災放送が流れたり、避難所が開設されたりします。



広報車による訓練協力アナウンス

訓練結果 (掲出戸数の割合率推移)

	旗掲出戸数	総戸数	掲出戸数の割合率 (%)
2013/9/1	605	1130	53.5%
2014/3/8	582	1137	51.2%
2014/9/20	657	1304	50.4%
2015/2/28	543	1306	41.6%
2015/10/10	829	1351	61.4%
2016/6/18	991	1392	71.2%
2017/8/26	717	1301	55.1%

* (旗掲出戸数、総戸数は報告数の集計)

2017年8月26日訓練結果 (丁目ごと)

	旗掲出戸数	総戸数	掲出戸数の割合率 (%)
1丁目	84	136	61.8%
2丁目	178	315	56.5%
3丁目	205	344	59.6%
4丁目	84	210	40.0%
5丁目	166	296	56.1%
合計	717	1301	55.1%



～ 2017年度 ～

はるひ野 放水訓練

(スタンドパイプによる初期消火訓練)



去る8月26日、川崎市麻生消防署のご協力をいただき、丸山こもれび公園周囲の道路で消火栓を使用したスタンドパイプによる放水訓練を実施しました。

この訓練は今年で3年目、4回目となり、今回は自主防災組織運営委員会メンバーのほか、町内会会長、副会長、ブロック代表者や自主参加の町内会の方々など計43名が参加しました。予報では雨模様でしたが、一転晴天に恵まれ開催できました。

訓練は、麻生消防署、はるひ野町内会自主防災組織と川崎市災害備蓄品のスタンドパイプ3セットを使用し、工程別に、①スタンドパイプを消火栓に設置する「消火栓セット」、②スタンドパイプから消火ホースを接合延長する「ホースセット」、③消火栓とホースの設置状況を確認して放水する「放水セット」の3つに分け、班ごとに分けた参加者をローテーションして実施しました。



「消火栓セット」

今回の訓練では、「見る」、取り扱い方法を「聞く」だけでなく、実際に「体験する」ことを主眼とし、多くの方が各訓練セットを体験しました。

自主防災組織では、今後も毎年継続的に当訓練を実施することを計画しています。

一度でも消火栓・スタンドパイプ・消火ホースの取り扱いや放水体験をした方と、してない方の差は歴然です。万が一の事態に備え、まだ参加されていない方はもちろん、参加された方も、ご近所お誘い合わせ奮ってご参加いただきます



「ホースセット」



スタンドパイプ



ようお願い致します。



「放水セット」

2017年間かわら版テーマ 自宅避難

その4 地震発生直後の行動

自主防災瓦版では一年を通して、「自宅避難」をテーマにしています。

今月は自宅避難時に自分を守る「地震発生直後の行動」です。

地震発生時には、経過する時間ごとにするべきことが変わってきます。地震が起きた時に何をすべきか、日頃からシミュレーションしておくことで落ち着いて行動することができます。

経過時間	行動すること	ポイント
地震発生～2分  まず低く DROP! 頭を守り COVER! 動かない HOLD ON!	自分の身を守る	激しい揺れは数十秒程度でおさまります。倒れてくるものなどから、身を守って下さい。
2～5分 	火の始末	揺れを感じた時にすぐ火の始末をすると、揺れによって火傷を負う可能性があります。あわてず大揺れが収まってから消火しましょう。 (東京ガス：震度5以上の揺れで、ガスメーターが自動的にガスを遮断します)
5～10分 	家族の安否確認 避難経路の確保	家族の無事が確認しましょう。家族内で事前に決まり事を作っておくとよいでしょう。 揺れによって入り口ゆがんで、ドアや窓が開かなくなっている事が考えられます。割れたガラスなどに注意、厚手のスリッパやスニーカーを履きましょう。
10分～ 	近所の安全確認	近所で家屋が倒壊して埋もれてる人はいないか、火災は起きていないか確認しましょう。

※ 本資料作成にあたり合同会社 LifeDroneJapan 現場で役立つ防災情報の資料を参考にさせていただきました。